

## 駐日大使を務める中で、思い出に残っているできごとはありますか？



「2016年5月に着任して以来、最も印象に残っている出来事は、2019年10月22日に行われた『即位礼正殿の儀』です。180以上の国と地域、国際機関の代表者が約2,000人参列されましたが、この歴史的な儀式にカザフスタンの初代大統領であるヌルスルタン・アビシュリ・ナザルバエフ大統領をご招待していただき、安倍晋三首相との会談も行いました。カザフスタンと日本との両国の交流の証しだと思います。上皇陛下の即位礼が行われた1989年当時は、まだカザフスタンはソ連に属していて出席することができなかったのですが、今回のカザフスタン共和国という独立国としての出席には、感慨深いものがあります。頻繁に行われる儀式ではありませんので、この時代に駐日カザフスタン共和国大使として参列させていただいたことは、大変光栄です」

## カザフスタンのステキなところをご紹介ください。

「カザフスタンはユーラシア大陸の中心に位置し、世界で9番目に大きい国土を有します。国土の3分の1はヨーロッパ側に属し、アジアとヨーロッパとの架け橋でもあります。その証拠に、2011年にアスタナ（現ヌルスルタン）とアルマトイで冬季アジア競技大会が開催されている一方で、サッカーは欧州サッカー連盟(UEFA) に加盟しています。

カザフスタンの魅力は、雄大な自然にあります。砂漠に氷河、山と、1つの国で厳しい自然のさまざまな表情を目にすることができます。草原は果てしなく広く、高くそびえ立つ山がたくさんあります。中でも天山山脈には標高4,488メートルのタラスキー・アラタウ山、標高4,488メートルのタラスキー・アラタウ山、標高4,973メートルのザイリスキー・アラタウ山、標高6,995メートルのハン・テングリ山など、非常に高い山々が連なっています。一方、首都ヌルスルタンやアルマトイなどの主要都市は特徴的な建造物が立ち並び、広々とした公園がある過ごしやすい街です。また、古代都市トルキスタンは主要観光地であり、国連教育科学文化機関（ユネスコ）に登録されているホージャ・アフマド・ヤサヴィー廟があります。ヤサヴィーは詩人としても知られますが、宗教指導者であり、スーフイズム（神秘主義派のイスラム教）の発展に貢献した先駆者です。他にもカザフスタンには多くの国立公園と自然保護区があり、西にはカスピ海が広がります。この機会をご縁に、ぜひ久留米市の皆さんをカザフスタンにお招きしたいです」

